

臨床研究のお知らせ

筑波大学附属病院では下記の臨床研究を行っています。もし、下記の研究内容に該当すると思われた方で、ご自身の検体が用いられることにご質問やご同意をいただけない方は、下記の連絡先にご連絡ください。

1. 研究課題名

茨城県 COVID クラスターコホート検体を利用したロボティクス技術を活用した新興再興感染症 PCR 検査と全ゲノムシーケンス解析の包括的自動化

2. 対象患者：下記のいずれかの方が対象となります。

2020年3月から2021年1月までに新型コロナウイルスの唾液または咽頭ぬぐい液によるPCR検査を行った患者さん。

3. 調査の目的

対象となる方から採取され、保存されている検体の解析を行い、新型コロナウイルスの新しい検査法の有用性について検討します。

4. 調査の方法

当院での検査で新型コロナウイルスが陽性と確認された検体を筑波大学プレジジョン・メディシン開発研究センターの新しい検査法で再検査を行います。検体は匿名化された状態で行われ、あなたの個人情報が外部に漏れることはありません。この調査のために新たな処置・検査等は行われません。そのため、調査に参加することにより特別に負担が増えるものではありません。

研究期間は、倫理審査委員会の承認後、2024年3月31日までを予定しています。

5. 調査に参加することによって得られる効果と予測される結果

予想される効果は医学の進歩への貢献です。最終的には、あなたがこの調査に参加していただいた結果が、将来の新興再興感染症の患者さんの診断に役立つことになると思われます。

6. 調査で得られた情報の開示・提供について

この調査の結果は、学会などでの発表、論文として医学雑誌などへの発表に使用される可能性があります。その場合もあなたの個人情報は含まれません。個々の患者さんに結果をお知らせすることはありませんが、開示請求をいただければ、対応させていただきます。

7. 研究費用・利益相反

この研究の費用に関しては大学からの運営交付金を使用いたしますので、あなたの費用負担が増えることはありません。また、謝金などのお支払いもありません。なお、プレジジョン・メディシン開発研究センターは検体解析を行います。筑波大学附属病院への資金提供はありません。

8. 情報の管理について責任を有する者

筑波大学医学医療系 感染生物学部門 教授 川口敦史

9. 研究機関名および研究責任者名

筑波大学医学医療系 感染生物学部門 教授 川口敦史

10. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

11. 本研究に関する連絡先

この研究でわからないことや心配なことがありましたら、いつでも担当医師または以下の問い合わせ先におたずね下さい。

【問い合わせ先】

筑波大学医学医療系 感染生物学部門 研究事務局 川口敦史

TEL. 029-853-3942 (平日、午前9時から午後3時まで)